

# 慶應義塾大学の奨学金制度のご紹介

## 多様なニーズに対応する大学独自の奨学金

大学独自の奨学金制度はすべて返済の必要がない給付型で約 90 種あり、2014 年度の採用実績は、のべ 2,445 名、約 8 億円にのぼります（このほか、留学生対象の奨学金採用実績は、のべ 434 名、約 2 億円）。

奨学金の対象や目的はさまざまですが、たとえば、「学問のすゝめ奨学金」は、入試の前に申請を受け付け、一都 3 県以外の地方出身者を対象としており、年間 60 万円（薬学部薬学科 80 万円、医学部 90 万円）が卒業まで支給されます（毎年審査有）。在学生向けには、家計・学力を両方重視するもの、家計状況を重視するもの、家計が急変した学生向け、海外での学習活動を支援するものなどがあります。

※なお、大学独自の奨学金以外に、国や奨学団体の奨学金もあります。「日本学生支援機構奨学金」は貸与奨学金で、塾生の 5 人に 1 人が利用しています。「民間団体・地方公共団体の奨学金」は約 8 割が給付型で、毎年約 100 団体から支援を受けており、この規模は全国の大学でもトップクラスです。

## 卒業生との強い絆

大学独自の奨学金は、卒業生（塾員）の存在を抜きに語ることはできません。

たとえば、慶應義塾維持会は、会員のご厚志により設立された維持会基金の運用益を「慶應義塾維持会奨学金」に充当することにより、愛塾心に富み、人物・学業成績ともにきわめて優秀な塾生を支援しています。給付金額は文系学部 50 万円、理系学部 80 万円で、2015 年度は 105 名に支給しました。

「慶應義塾維持会奨学金」Web サイト

URL <http://www.kikin.keio.ac.jp/ijikai/syougaku/01.html>

同様に、指定寄付奨学金は、卒業生組織である三田会や、篤志家からの寄付金が原資です。2014 年度はのべ 176 名（学部生 144 名、大学院生 32 名）に、総額約 6,000 万円が給付されました。最近では、学部卒業 25 年目にあたる三田会が募金を集めて在学生に奨学金を贈る活動が定着しています。毎年 9 月には「指定寄付奨学金授与証交付式」および懇談会を開催し、塾長や常任理事とともに、寄付者と奨学生との交流の場となっています。

## 大学独自の代表的な奨学金

（すべて返済不要）

タイプ	奨学金名
入学前申請・地方重視型	学問のすゝめ奨学金
	慶應義塾大学給費奨学金
家計・学力バランス型	慶應義塾維持会奨学金
	指定寄付奨学金
家計状況重視型	慶應義塾大学経済支援給費奨学金
	慶應義塾大学特別奨学金
家計急変型	指定寄付奨学金
	慶應義塾創立 150 年記念奨学金 （海外学習支援）
	慶應義塾大学交換留学生（派遣） 奨学金
	指定寄付奨学金
海外学習支援型	慶應義塾大学交換留学生（派遣） 奨学金
	指定寄付奨学金

詳細については、以下の Web サイトをご覧くださいませ。

URL <http://www.keio.ac.jp/ja/education/life/scholarship.html>



指定寄付奨学金授与証交付式および懇談会の様子